

平成 30 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能型居宅介護 とまり木

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	3	4	2	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	8	2	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 急なサービス変更や追加にも、可能な限り柔軟に対応できている 利用開始時は、ライフサポートプランにおける「わたしの暮らしシート」をもとに、丁寧なアセスメントを心がけている 本人との信頼関係構築のため、コミュニケーションを密にとっている。介護者に対しても、同様に話す機会を多く作るようにしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用前の暮らし方やニーズを、開始前にスタッフが十分に共有できているとは言えない 介護者とコミュニケーションを図る機会が少ないと感じている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用開始時における効率的な情報共有の方法を検討する (申し送り方法のルール化) 新規利用者に対しては、利用開始前より担当者を決め、担当者はサービス担当者会議等へ参加するなどして、事前情報を把握する。その情報を、スタッフに還元していく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	7	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	3	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・(ケアマネジャー) ライフサポートプランに、本人の目標と当面の目標を設定している。利用者カルテに入れ、スタッフ全員が常時確認できるようにしている ・ライフサポートプランにおいて目標が明確に記載されているため、そこで本人の目標を把握することになっている。ミーティングの中で、目標に対する評価や課題の抽出を行い、目標達成のために必要なケア方法について検討している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が利用者の目標を把握しているとは言い難い面がある。情報共有不足を感じる ・目標を把握していても業務の煩雑さに追われ、その通りに実践できないことがある ・ミーティングだけで、十分な検討が出来ているとは言えない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた関わりが出来るよう、ライフサポートプランをスタッフ全員が把握し、ケアプランに基づいたケアの提供をする。そのために、「ケアプラン実行記録」等を活用し、日々プランに沿ったケアができる体制をつくる 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	5	3	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7	2	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	0	8	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	2	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">セラピストやケアマネジャーと情報共有し、利用者自身でできること、やってもらえそうなことを活かしたケアの提供をするようにしている利用者が普段何気なく話すことで、気になる点については「申し送りノート」などを活用して共有するようにしている看護師が常時いる体制であるため、利用者の体調面などで気づいたことがあればすぐに報告・相談し、迅速な対応ができている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者の思いや状態変化に気付いても、それをスタッフ全員で共有し、対策を講じているとは言い難いスタッフ間の情報共有が十分ではなく、統一したケアを提供することが難しい非常勤職員のミーティングへの参加が困難であり、スタッフ全員で協議したり検討する機会がない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">毎朝のショートミーティングを必ず実施して、その日の利用者状況などについてスタッフで共有する担当職員が中心となって利用者とその家族の生活状況を把握し、スタッフに周知する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	5	2	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	6	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートプランやアセスメントシートに記載していることについては、把握している ・「訪問」でサポートしている利用者の生活状況については、自宅へ伺うため把握しやすい ・サービス担当者会議等を通じて、介護者等から生活状況を聞き取ることはしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会資源に対する情報が少なく、把握できていない ・インフォーマルサービスを含めた支援内容にまでできていない ・民生委員との連携方法が十分にわかっていないため、連携不足となっている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を理解するために、地域行事などに積極的に出向いていく ・インフォーマルサービスや地域の社会資源について、地域包括支援センターを通じて情報提供を受ける ・独居、高齢者世帯の利用者がサービス利用開始する際は、本人の了解のもと、民生委員に電話等にて連絡し、連携できるようにルール化する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	7	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	4	4	2	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを、利用者のニーズに合わせて、柔軟に提供することはできている ・その日、その時の利用者状況に応じて、柔軟にサービスを変更・追加するなどして対応ができている ・ 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会資源に対する情報不足のため、資源の活用については、あまり出来ていない ・運営推進会議に参加しているスタッフ（管理者・ケアマネジャー等）以外は、地域の方と交流する機会も限定されてしまっている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活を見守っている地域の方・ご近所の方を、アセスメントの際に聞き取り、サービス担当者会議等にも声をかけるなどして、繋がりが途切れないようにする（特に民生委員との連携を強化する） 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	5	0	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	0	8	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	1	8	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	8	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 「地域交流スペース ふらっと広場」には、赤ちゃんや子供、老人クラブの方など様々な世代の方が訪れている 利用者のケアプラン上に位置付けられた他事業所 (訪問看護・福祉用具) や医療機関とは、必要に応じて会議を行っている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自治体を実施する研修等には参加するようにしているが、地域包括支援センターとの連携が十分ではなく、参加できる会議があるのかわからない 開設1年目で、現場業務を実施することで精いっぱい状況があり、地域行事への参加ができていないのが現状 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターが建物内にあるため、地域の情報は積極的に包括から情報提供を受けるようにしていく 運営推進会議等を通じて、地域行事を把握し、可能な限り利用者も含めて参加していけるようにする 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

7. 運営

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	3	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	0	3	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	4	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	4	5	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・開設1年目ということもあり、事業所の在り方については、ミーティングなどを通じてスタッフ同士で意見を出し合うことはできている ・利用者、家族の意見や苦情については、可能な限り運営に反映できるようにしている ・特定の地域住民の方について、事業所に対する意見をいただくため、業務改善するよう努めている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にはまだ事業所の存在が認識されていないこともあり、地域の声が届くこと自体が少ない ・運営推進会議の委員の方からも、「小規模多機能のことがまだよくわからない」と言われており、意見や苦情をいただくまでには至っていない ・地域に必要とされる拠点になるために、何をしていけばよいか、スタッフもよく理解できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にまずは事業所のことを知ってもらうために、「地域交流スペース ふらっと広場」を活用して、地域の方にも参加してもらえるイベントなどを企画していく ・意見箱の設置を早急に行う ・事業所から、利用者・家族へのアンケートの実施を検討する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	2	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	2	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	8	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	1	4	5	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・法人内で開催する研修や外部研修への参加については、必要に応じてできている・岐阜市小規模多機能連絡会へは、定期的に参加できている (管理者・ケアマネジャー)・「安全対策委員会」があり、リスクマネジメントの取り組みとして「ヒヤリハット報告書」の検討や対策を講じている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・開設1年目ということで現場業務に忙殺されてしまい、事業所内研修が十分に実施できなかった・リスクマネジメントに対する意識をスタッフ一人一人が持っていたとは言えない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・年間の研修計画 (内部研修・外部研修含む) を立案し、計画的に研修機会を確保する・リスクマネジメント等の研修会を開催し意識向上を図る。マニュアルの見直しなどを行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月25日 (17:30 ~ 18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	0	5	3	2	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	4	3	3	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・カルテや薬などは、鍵のかかるところでの管理をしている・「個人情報保護」「高齢者虐待」についての研修を実施し、スタッフの意識づけをしている・利用者の排泄、入浴介助時は、プライバシーの保護に留意している。居室に入る時のノックなども、ルール化している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束に関する指針についてスタッフの認識が足りない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束に関する指針について、スタッフ全員で共有し、意識向上を図る・身体拘束、プライバシー保護をテーマに、研修会を実施する	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・開設1年目という事もありわからない事がたくさんある中で、こうして自己評価を行う事で、問題点が具体的に分かった事がよかった。
- ・何もかも急いで改善は考えず、1つずつ本物にするよう努力して行ってほしい。

【前回の改善計画に対して意見】

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・できていない点と言うのが項目事に詳しく書いてあり、具体的な改善計画が立ててあると思うので、それに取り組んでもらいたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・事業所の中の事なので、自分たち（地域の方）には評価しにくい項目もあった。
- ・開設1年目と言う事でこの時期は、課題や問題点がどっさり有ったほうがよい。

【改善計画】

- ・自己評価で挙げた課題や改善計画については、職員ごとに役割分担し具体的な取組みを実施する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 玄関も明るくて入りやすいイメージ
- ・ スタッフのみんなもちゃんとあいさつが出来ていると思う
- ・ 玄関の鍵がかかっているようだが、勝手に出ていってしまわないのか？
- ・ 不快な音や臭いに関しては、苦情等は聞いた事がないので、大丈夫だと思う。
- ・ 車通りの激しい道路がすぐ横にあるが、静か。

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】

- ・ 地域住民にとって身近な事業所となれるよう、地域交流スペース等の活用を積極的に行っていく

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	0	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	3	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・あいさつに関しては、出来ていると思う。
- ・地域の方に知られているかと言うとまだ知らない人もいると思う。
- ・同じ町内の人たちは、知っていると思われる。
- ・同建物内に包括支援センターがあるため、相談事は包括支援センターに行く事が多い。
- ・地域に入っていくのには、時間がかかる。少しずつ行事やイベント参加がしていけるとよい。

【前回の改善計画】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・自分たち（地域の方）もどのように利用者さんに接していいのか迷ってしまう。

【改善計画】

- ・住民向けの見学会や住民参加型のイベント等を企画し、地域の方に事業所へ足を運んでいただく機会をつくる。
- ・地域の行事やイベントには、積極的に参加する。そのためにも、まずはそれらの情報把握に努める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	0	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	3	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	7

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たち（住民）は、利用者を事業所内に閉じ込めているかどうか分からない。 ・事業所のまわりを散歩する事で地域の人に知ってもらう機会にもなるのでは？ ・自治会加入やボランティアを募ってはどうか。
<p>【前回の改善計画】</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が住んでいる地域の民生委員や近隣の方との顔の見える関係作りをする。 ・インフォーマルサービスを把握し、うまく活用していけるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議での議題は分かりやすい
- ・同圏域内であれば、他事業所と合同で運営推進会議の開催が可能になったため、1回でも合同で行うと、互いの問題や課題を共有するいい機会になるのではないかと

【前回の改善計画】

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】

- ・来年度は、運営推進会議で事例検討を実施し、どういった状況の方が当事業所を利用するとよいのかを、もっと具体的にイメージしてもらえるようにする
- ・運営推進会議で頂いた意見や改善事項については、事業所内で検討し、次の会議までに対策や検討状況などを報告していく

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	0	6
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	4	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	6	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の防災訓練に参加した事は無い。
- ・包括は同じ建物と言う事もあり参加している（包括支援センター職員）。
- ・10月に地域の防災訓練を実施しているため、次回は見学に来てはどうか。
- ・ここに災害用備蓄はあるか。

【前回の改善計画】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域の方に防災訓練の参加を呼び掛けていなかったのが、今後の課題。
- ・去年の台風の時に、地域の方が頼ってみえたか？

【改善計画】

- ・次年度は近隣住民へも避難訓練の呼びかけを行い、参加していただけるようにする。
- ・当事業所の防災計画について説明する機会をつくる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団友愛会	代表者	岩砂 智丈	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に開放されている地域交流スペース「ふらっと広場」がある。 ・医療法人である強みを活かし、看護師・作業療法士等を配置し、医療依存度の高い方に対しても、自立支援のためのケア体制が整備されている。 ・在宅生活を支える為に、柔軟な訪問サービスの提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護とまり木	管理者	住友 あゆみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			開設1年目と言う事もあり、自己評価を行った事で、問題点が具体的に分かった事が良かった。	自己評価で挙げた課題や改善計画については、職員ごとに役割分担し具体的な取組みを実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所は明るく入りやすいイメージで、自由に出入りすることもできるので開放的だと思う。	地域住民にとって身近な事業所となれるよう、地域交流スペース等の活用を積極的に行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり			訪問者に対しての挨拶はできているが、そもそも地域住民はまだこのことを十分に理解できていない。地域への広報活動を。	住民向けの施設見学会や住民参加型のイベントを企画し、地域の方に事業所へ足を運んでもらう機会をつくる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			事業所における利用者の過ごし方について、まだ十分に理解されていない状況。近隣を散歩するだけでも地域住民と接する機会になるのではないかな。	利用者を通じて、その地域の民生委員や近隣住民の方と、顔の見える関係づくりを行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			1年目は施設の特徴や、現在利用して頂いている利用者様の現状の報告が主な内容になっていた。	運営推進会議で事例検討を行いどのような状況の方が利用するとよいのかを、具体的にイメージしてもらえるようにする
F. 事業所の防災・災害対策			定期的な防災訓練は取り組んでいるものの、施設だけの訓練で地域は参加していない。事業所の防災対策等についても把握していない。	近隣住民の方にも参加してもらい防災訓練を実施する。防災計画等を説明する機会をつくる。

